

# 長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

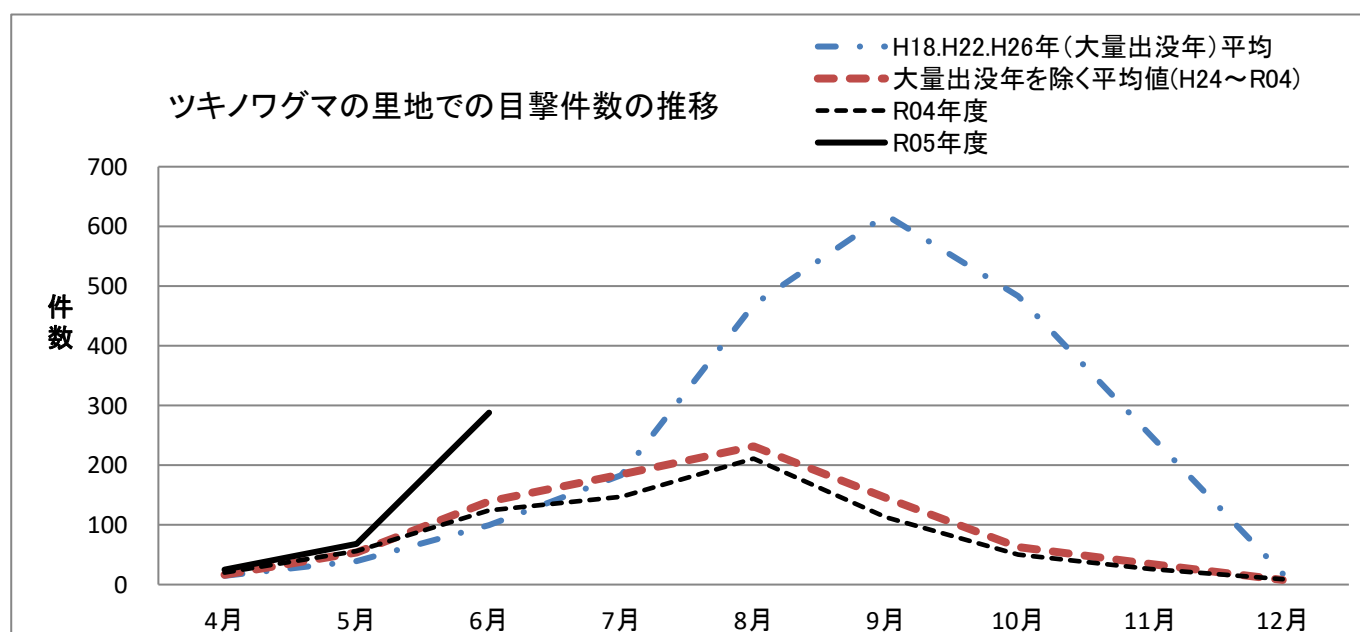
長野県林務部鳥獣対策室

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H24	8	31	84	176	325	286	89	21	0	-	1,020	7(7)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288								381	4(5)

※人身被害は林内での発生も含む。  
網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を 除く平均値 (H24~R04)	16	54	139	185	232	145	63	34	8	876	8.0(8.1)
R04年度	20	56	124	147	211	113	50	26	9	756	8(8)
R05年度	25	68	288							381	4(5)



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

## 野生鳥獣による人身事故発生状況

(単位：件(人))

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5年 6月末
ツキノワグマ	6 (7)	5 (5)	8 (8)	12 (12)	16 (16)	8 (8)	4 (5)
ニホンザル	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)	2 (6)	- (-)
イノシシ	2 (2)	- (-)	- (-)	2 (3)	- (-)	1 (1)	1 (1)

### <令和4年度に発生した人身事故の状況>

- ツキノワグマ：場所 林内6件、里地2件  
時期 4月1件、8月4件、9月3件
- ニホンザル：場所 里地2件  
時期 6月1件、10~11月1件
- イノシシ：場所 里地1件  
時期 5月

### <令和5年度（6月末現在）に発生した人身事故の状況>

- ツキノワグマ：場所 林内4件  
時期 5月2件、6月2件
- イノシシ：場所 里地1件  
時期 6月1件

## 市町村等を通じた注意喚起

- R5. 4. 18 ツキノワグマの出没に係る適切な対応について
- ・野生鳥獣による事故発生時の連絡体制の確認
  - ・冬眠明けのクマへの注意事項、クマと遭遇しない対応の紹介等
- R5. 5. 8 ツキノワグマによる人身被害防止のための取組の徹底について
- ・大型連休中に人身事故が2件続いて発生したことを受け、注意喚起を発出
- R5. 7. 4 ツキノワグマによる人身被害防止のための注意喚起等について
- ・里地での目撃件数が増え、林内での人身被害も増加していることを受け、入山者等に向けた注意喚起
  - ・夏季におけるクマへの注意事項の紹介

引き続き人身被害防止のための注意喚起の徹底をお願いします

地域振興局林務課長 様

鳥 獣 対 策 室 長

ツキノワグマによる人身被害防止のための注意喚起等について (依頼)

ツキノワグマの出没に係る適切な対応等については、本年4月18日付け及び5月8日付けで依頼したところですが、下記のとおり5月末現在の里地での目撃件数及び6月末現在の人身被害発生件数がそれぞれ前年同期比で増加しており、今後も気温の上昇とともに野外活動の機会が一層増えると見込まれることから、市町村等関係機関と連携して有線放送や広報誌を活用する等、ツキノワグマとの遭遇を未然に防止するための注意喚起・安全啓発の継続的な取組を推進してください。

特に今年度の人身事故はいずれも林内で発生していることから、登山やキャンプ等を目的に入山する観光客や施設関係者等に対しては、クマ避け鈴やラジオ等音の出る装備を必ず携帯すること、複数人で行動すること等、人の存在をクマに知らせて不意の遭遇を防止する取組とともに、持ち込んだ飲食物は放置せず必ず持ち帰る等、クマ等への意図しない餌付けを行わない取組についても観光部局と連携の上、対応をお願いします。

また、出没情報等については関係機関が速やかに情報を共有し、野生鳥獣被害対策チームやクマ対策員、警察署等との連携の下、状況に応じて速やかに対応できる体制とともに、人身被害が発生した場合の連絡体制についても改めて確認する等、御配慮をお願いします。

なお、山岳高原観光課長あて別紙(写し)のとおり依頼してあります。

記

ツキノワグマの目撃(里地)及び人身被害発生件数の推移(平成30~令和5年度)

(単位:件)

区分		平成30年度	令和元	2	3	4	5	前年同期増減
目 撃 件 数	5月末現在	114	82	66	94	76	93	+17件
	年度計	749	1,332	1,437	1,059	770		
人身被害発生件数	6月末現在	-	-	1	2	1	4	+3件
	年度計	5	8	12	16	8		

(問合せ先)  
森林づくり推進課鳥獣対策室  
担当: 豊森  
電 話 026-235-7273  
ファクシミリ 026-235-7279  
電子メール [choju@pref.nagano.lg.jp](mailto:choju@pref.nagano.lg.jp)

山岳高原観光課長 様

鳥 獣 対 策 室 長

ツキノワグマによる人身被害防止のための注意喚起等について (依頼)

このことについて、5月末現在の里地でのツキノワグマの目撃件数及び6月末現在の人身被害発生件数がそれぞれ前年同期比で増加しています。

特に今年度の人身事故はいずれも林内で発生していることから、登山やキャンプ等を目的に入山する観光客や施設関係者等に対し、クマ避け鈴やラジオ等音の出る装備を必ず携帯すること、複数人で行動すること等、人の存在をクマに知らせて不意の遭遇を防止する取組とともに、持ち込んだ飲食物は放置せず必ず持ち帰る等、クマ等への意図しない餌付けを行わない取組についても普及啓発をお願いします。

なお、地域振興局林務課長あて別紙(写し)のとおり依頼してあります。

記

ツキノワグマの目撃(里地)及び人身被害発生件数の推移(平成30～令和5年度)

(単位:件)

区分		平成30年度	令和元	2	3	4	5	前年同期増減
目撃件数	5月末現在	114	82	66	94	76	93	+17件
	年度計	749	1,332	1,437	1,059	770		
人身被害発生件数	6月末現在	-	-	1	2	1	4	+3件
	年度計	5	8	12	16	8		

(問合せ先)  
森林づくり推進課鳥獣対策室  
担当: 豊森  
電 話 026-235-7273  
ファクシミリ 026-235-7279  
電子メール [choju@pref.nagano.lg.jp](mailto:choju@pref.nagano.lg.jp)

# 夏のクマに注意！

## ○ 夏は、山の食べ物が少なくなります

この時期のクマは、山でサクラやクワなどの果実のほか、アリやハチなど、一度に多く食べることでできる社会性昆虫をエサにしています。特に夏の終わりごろは端境期で1年のうち最も食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、農作物に被害を出すことがあります。

## ○ 夏は、ツキノワグマの交尾期にあたります

6～8月頃にかけてはクマの交尾期にあたります。通常、クマは単独行動ですが、オスとメスが共に過ごすことが多くなります。また、1～2歳の子グマは母グマと別れて暮らし始めます。

## ○ 夏は、若い個体が入りに近い低標高域で活動します

高山植物を食べるため、山を登って高標高域で生活するクマ（主に成獣オス）がいる一方、比較的若い個体は山を登るクマを避け、低標高域で行動することが多くなります。このようなクマも入りに近づく可能性が高まります。

クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください。

### ◇ クマ避け鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。クマ避け鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら行動しましょう。

### ◇ 朝夕の行動は避け、複数人で行動する

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。また1人ではなく、複数人で行動しましょう。

### ◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがありますので注意が必要です。

### ◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

### ◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

### ◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

トウモロコシやプルーン、モモなどを栽培している畑や果樹園等の周囲には、電気柵を設置したり、ヤブをあらかじめ刈り払うなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサです。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。

# クマのことを知って、クマと出会わないようにしましょう



## 1 クマが残したサインに気をつける

クマの新しいフンや足あとを見つけたらクマが近くにいるかもしれません。

**注意!**

黒いですが、これはカモシカです。



クマの糞いろいろ (食べ物により色や形状が異なります)



イノシシの捕獲檻のヌカを食べた黄色いフン



トウモロコシを食べたフン



リンゴを食べたフン



クマの足あと



↑子グマ  
←親グマ



これはキツネの足跡

## 2 母グマは子グマを守ろうとする。

子グマの近くには、かならず母グマがいて子グマを守ろうと襲ってくる場合があります。非常に危険です。どんなに可愛くても絶対に子グマ近づいてはいけません。



クマのツメのあと



りんごの木に登って枝を折って食べたあと



木のウロにできたハチの巣を取ろうとして木の皮をむいたあと

## 3 ドングリだけを食べているわけではありません。

ハチの巣はもちろん、下の写真は枯れ木の根元にあったアリの巣を掘ったあとです。ヤマザクラなどの小さな木の実などを夢中で食べたいします。



## 4 食べるためにとんでもないこともする。

上の写真は、クマが壊した建物のカベ (中に入ったミツバチの巣をとろうとした。)



ヤマザクラ

クワの実

長野県林務部 鳥獣対策室  
電話 026-235-7273 (直通) FAX 026-235-7279  
Eメール choju@pref.nagano.lg.jp

# サル等の野生動物に 出会ったら If you meet wildlife,

サル等の野生動物に出会った場合、多くは移動の最中なので、サル等は自然に立ち去ります。しかし、突然近くで出会ってしまった場合は、以下に注意してください。

## 刺激しない

### Don't excite wildlife.

目を合わせず、さわがず、ゆっくり、その場を立ち去りましょう。  
興奮させると人を攻撃することもあります。安全な場所に立ち去りましょう。

## 近づかない

### Don't approach wildlife.

近づくと、人を攻撃してくることがあります。スマートフォンやカメラの撮影で近づくことも大変危険ですので、近づかないでください。

## エサを絶対にあたえない

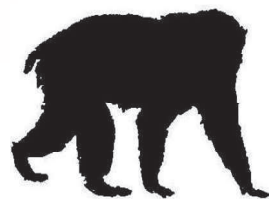
### Don't feed wildlife.

エサを与えると、人を怖がらなくなり、人や農作物への被害につながります。  
エサは絶対に与えないでください。エサとなる生ゴミ等も適切に管理しましょう。

### ◆ **万が一、サル等におそわれたら**

引っかかれたり、かまれてしまったら感染症の恐れがあります。すぐに医療機関を受診してください。

If you are scratched or bitten by wildlife, you make sure to see a doctor as soon as possible.



# サル等の野生動物に 餌を与えないで



## Do not approach or feed wildlife

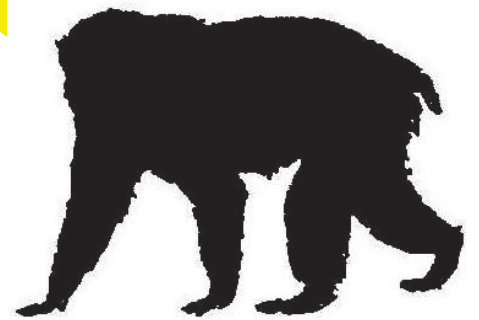
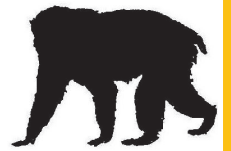
餌付けは、野生動物による農作物や人への被害を助長します

<人や作物に慣れる／人を威嚇する／車にぶつかる>

餌を与えない

近づかない

刺激しない



**Fed wildlife is DEAD them. If you care, don't feed!**

If wildlife become reliant on, or expects food to be provided by humans, it means that they begin congregating near where humans live, which causes more **damages on the crops** in the fields, **road accidents**, increased **aggressive behavior** towards humans, and may limit their natural fear of humans.

### ◆ 万が一、噛まれたら

感染症の恐れがあります。

サル等に引っかけられたり、かまれてしまったら、すぐに医療機関を受診してください。

If you are scratched or bitten by wildlife, you make sure to see a doctor as soon as possible.



# イノシシにご注意ください!

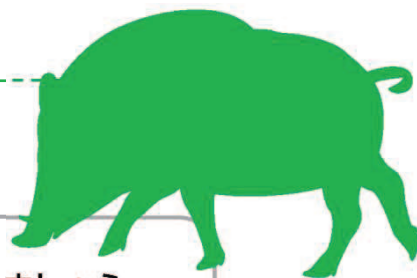
イノシシは警戒心が強い動物で、ふつうは人と出会ったときは、イノシシの方から先に逃げていきます。

しかし、突然出会った場合や何かから逃げようとパニックになっている場合は、攻撃してくることがあり、注意が必要です。

## ◆ イノシシに出会ったら

### 刺激しない

あわてず、さわがず、ゆっくり後ずさりしてその場を立ち去りましょう。  
イノシシから身を守ることができる  
安全な場所(建物、車、高い所)に避難しましょう。



#### 【事故例】

令和3年に大阪府で男性が自転車走行中イノシシと接触し、攻撃され死亡。

### 近づかない

イノシシの子ども(うり坊)の近くには、必ず母親のイノシシがいて、子どもを守ろうとします。絶対に近づかず、その場からゆっくり離れましょう。

### 集落内でエサを食べさせない

集落内の生ごみ、野菜くず、廃果、ペットフードの放置等は、イノシシのエサとなり、**無意識な餌付け**につながります。  
イノシシを集落に寄せ付けないため、イノシシのエサとなるものは適切に処理しましょう。

#### 【事故例】

食べ物が入ったレジ袋を持って歩いていたところ、イノシシに攻撃され負傷。

## ◆ 万が一、イノシシがおそってきたら

### キバ・かみ付きに注意

イノシシはキバを持っていて、キバをしゃくり上げて攻撃します。  
また、かみ付かれると大けがにつながります。

太ももの前面を攻撃されると、大量出血につながり、命に関わる危険があります。カバンなどで身を守りましょう。

エサになりそうなものを持っている場合は、すぐに体から離してください。



集落周辺で目撃したら、市町村役場または  
県地域振興局林務課にお知らせください

# 【イノシシはこんな動物】

イノシシは本来、警戒心が強く臆病な動物です。ふつうは人と出会ってもすぐにイノシシが先に逃げていきます。

しかし、人がエサを与えたり、集落内でエサが簡単に食べられると、餌付けの状態となり、イノシシの警戒心が低くなります。また、刺激や逃げ道をふさがれてパニックになった場合など、人を攻撃することがあります。

イノシシは、水田の耕作放棄地や集落内外のヤブに好んで生息しており、集落周辺でこうしたイノシシの生息適地が増加することが、集落へのイノシシの出没が増加する要因の1つとなっています。

☞ **イノシシの習性について、詳しくは「イノシシ対策の基礎知識」**

## イノシシ Q & A

### Q1. イノシシは犬を連れていっていると出会わない？

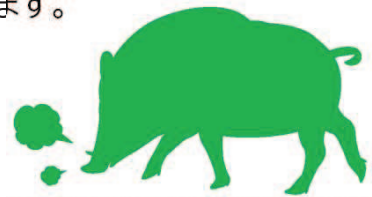
犬を連れていっているときは、イノシシは犬を敵と判断し、攻撃される可能性があります。犬の散歩中にイノシシと出会ったら、犬のリードを離し、イノシシから目を離さずに避難しましょう。

### Q2. 山にエサがないから集落に出てくるの？

イノシシは、奥山よりも里に近い山際の草むらやヤブを好んで生息しています。また集落周辺にこのような場所があって「簡単に美味しい栄養満点の食べ物を得られる」とイノシシが学習すると、頻繁に集落に出没するようになります。

【集落内でイノシシのエサとなるもの】

生ごみ、野菜くず、廃果、収穫されない果樹、ペットフード等イノシシのエサとなるものの放置は、無意識な餌付けにつながります。イノシシのエサとなるものの管理を十分に行いましょう。



### Q3. イノシシの猪突猛進って本当？

イノシシは真っ直ぐに突進するイメージがありますが、実際は急に曲がるのも得意です。猟師に追われ、必死に逃げる姿から、猪突猛進と言われるようになったとされています。

### Q4. イノシシは夜に行動するの？ 昼に行動するの？

イノシシは、人の影響が強い地域では夜に活動しますが、人の影響が少ない地域では昼に活動するといった様に、人の影響によって柔軟に行動を変化させます。人に馴れて警戒心が低くなると、昼でも集落や住宅地に出没することがあります。